

プロジェクト名
施設園芸へ横展開を目的とした天地人コンパス機能拡張と栽培実証

衛星データ利用者名
 株式会社 誠和

サービス提供者名
 株式会社 天地人、明治大学農学部

プロジェクト概要
 本提案は、明治大学農学部、施設園芸ソリューションの最大手である誠和、天地人が連携し、2019年度成果「天地人コンパス」を二つの観点（露地→施設園芸、果樹→野菜）で横展開し、波及効果を行うプロジェクトである。誠和の既存システムである栽培支援クラウドサービスへ天地人コンパスを接続し衛星による各種情報（日射量履歴、降水量履歴、温度履歴等）を提供することでユーザ（販売実績約6000台）への価値提供を行うとともに、農業資材（遮光遮熱材や光合成促進剤等）の適切な時期での利用を提案する。

導入前

イメージ

- 観測器がないところでは、日射量が分からない
- 収量予測できる地点は限定的
- 栽培施設の設備提案は経験や勘、一律データに頼る部分も大きいため、現状以上の顧客満足度の向上は難しい
- 施設園芸によるアスパラガスの採りつきり栽培では、高度な観測機器や衛星データを用いた例はない

導入後

イメージ

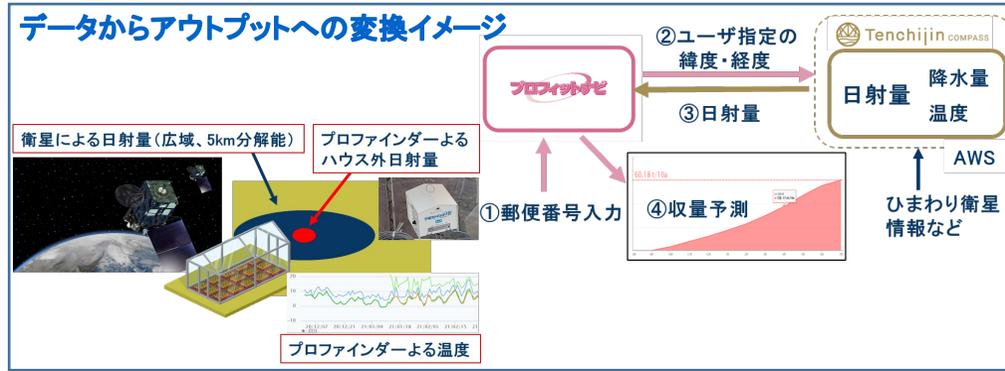
- 衛星データを解析して算出した日射量データからピンポイントの日射量が分かる
- 天地人独自の誠和向け日射量データを、既存システムであるプロフィットナビ デモ版にAPIで接続することで、ピンポイントの収量予測が可能（より多くの人に衛星データを利用してもらえる）
- 顧客の知りたい場所に合わせ、定量的に収量予測や栽培施設の設備提案が可能となる
- 栽培実証により、特定品種と衛星データを組み合わせ、栽培手法の開発やパッケージ化して広く展開できる




活用したデータの種類

<衛星データ>
 日射量：ひまわり8号
 台風経路：ひまわり8号
 地表面温度：MODIS、GCOM-C

<地上データ>
 誠和社提供情報：ハウス内外の日射量データ（日射量推定評価指標）
 プロファインダーのデータ：ハウス内外の温度など
 気象業務支援センター：日射量
 WAGRI：農地情報



衛星データに関する要望

- 気温、降水量、日射量など総合的に取得し、活用できるようになることを望む
- 衛星データが気象台データと同等レベルに入手可能で、扱いやすいものとなるための契機となることを望む

サービス導入による効果(定量的に)

- 施設園芸を志す新規参入者への営業の際にピンポイントのハウス設置場所に対して収量見込みを提供（アクセス数：平均10件/日）
- 新設の施設園芸野菜生産者は約2000戸いるため、天地人コンパスのデータを活用することで、土地評価や栽培施設の設備提案の可能性が広がる

※1 フォントサイズは10pt以上とすること。 ※2 A4サイズ横1枚以内に収めること。 ※3 代表者を下線で示すこと。